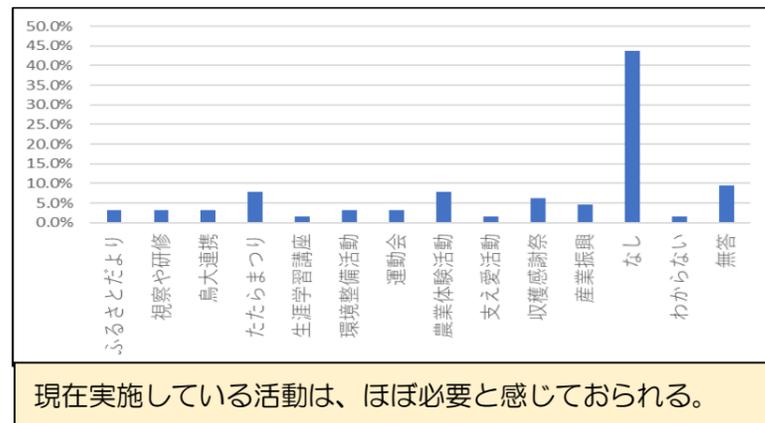


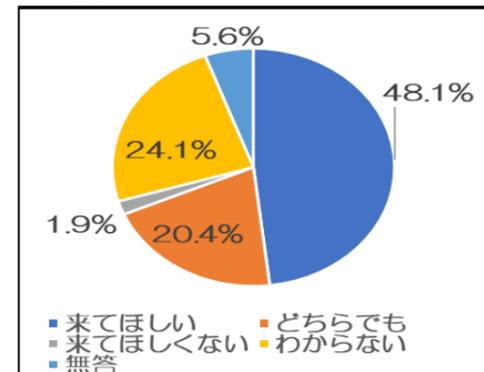
⑨まち協の活動でやめたいことは？(在住者)



現在実施している活動は、ほぼ必要と感じておられる。

⑩地域おこし協力隊に

来てもらいたいですか？

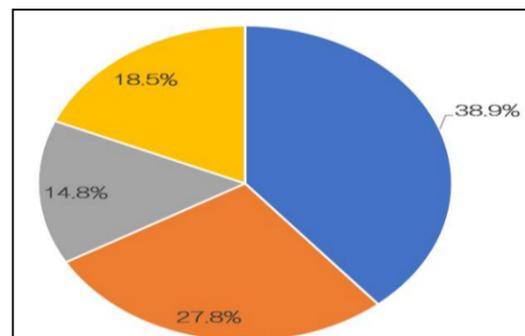


7割近い人が来てもらいたいと望んでいる。

⑪地域おこし協力隊に何をやってもらうか？

- まちづくりのアドバイス
- イベントの企画
- 農業、炭焼き、ドジョウの養殖をはじめとする産業振興
- 雪かきや除草作業などの活動
- 広報活動
- その他

⑫大宮に住み続けますか？



「住み続ける」「決まていないが住み続ける」と答えた人が66.7%である。

⑬出身者の大宮への思い(要約)

○故郷はいつまでも故郷です人口減少が気になります。
 ○田舎は元気であってほしいです。泊まれる場所があれば、もう少しは帰られると思うし、金も落とせると思う。
 ○沢山の思い出や沢山の世話になった方が居る大宮だからこそ出来る限り応援したいです。
 ○やはり愛着があります。帰ってくる場所はここだ、と思います。
 ○ふるさは、元気な地域であってほしいです。
 ○いつまでも故郷は懐かしく大切な場所です。

※すべてのアンケートの結果を掲載できませんでしたこと、お詫び申し上げます。
 ※「まちづくりアンケート」にご協力いただきましたみなさまに感謝申し上げます。

編集・発行 大宮まちづくり協議会

《お問合せ》

大宮地域振興センター
 〒689-5531
 鳥取県日野郡日南町印賀 1516
 TEL・FAX (0859)87-0911
 Mail: skn0400@town.nichinan.tottori.jp
 satoyamaoomiya@sea.chukai.ne.jp
 blog: http://blog.zige.jp/satoyamaoomiya/
 “じげプロ”よりお入りください



編集後記

◆雪もこのところ降らず、朝からの雪かきは休止中で、ホッとしている。積雪が10cm程度になれば、深夜2時から3時ごろから除雪車が動き出し、通勤時の7時から8時ごろには、スムーズに通勤できる。除雪車のオペレーターのみなさんには感謝である。◆1年前のアンケート調査で大宮出身者のみなさんのふるさを想う言葉の数々を読み返し、あらためて、大宮を持続可能なまちづくりするための努力が大事だと感じた。5か年計画を完成させましょう。(青)



No.83

ふるさとだより

おおみや

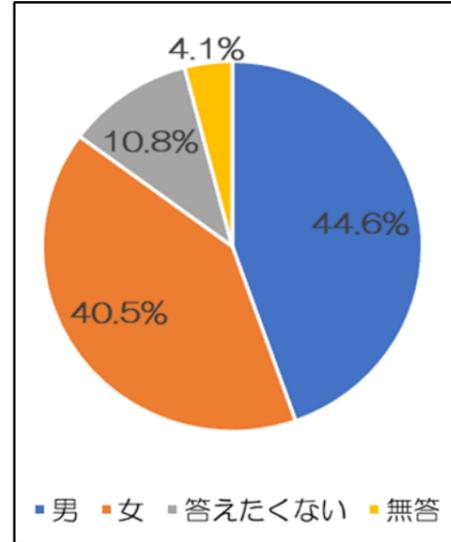
1月16日、「印賀地区とんどまつり」(印賀自治会主催)が行われた。各班単位で実施していたとんどさんであるが、参加者が年々減少しているため、印賀自治会が主催して自治会単位のとんどさんを計画、今年で3回目のとんどさんとなった。古都純孝自治会長さんのあいさつでは、正月飾りを田んぼに運び、焼いて、歳神を送りあげる儀礼が、「とんどさん」のいわれであると話された。大宮地区の繁栄と無病息災を願い、年男の内藤三千雄さんが正月飾り等に火を付けた。また、参加者全員による大じゃんけん大会が実施され、にぎやかなとんどさんとなった。

大宮まちづくりアンケートの結果

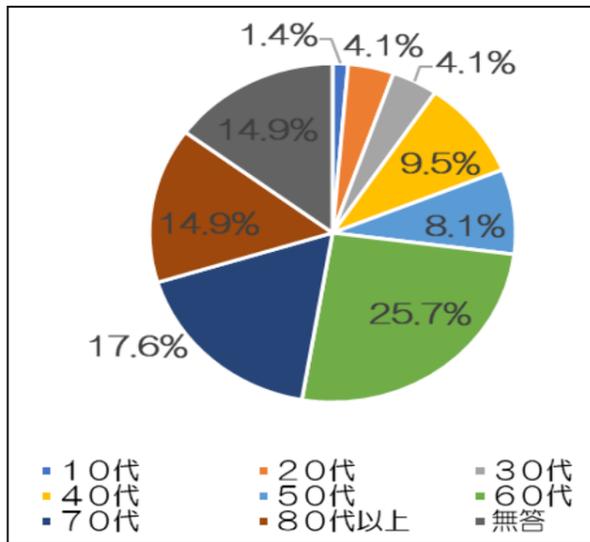
大宮まちづくり協議会の5か年計画作成のためのアンケートを鳥取大学地域学部筒井ゼミの全面的な協力で令和3年1月に実施しました。アンケートにお答えいただきましたみなさまに厚くお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。みなさま方からお寄せいただいたアンケートをもとに5か年計画作成委員会が鳥取大学の筒井教授のアドバイス等をもらいながら3月には完成させる予定です。

① 回収数 地元住民：53人、大宮出身者：21人、合計74人

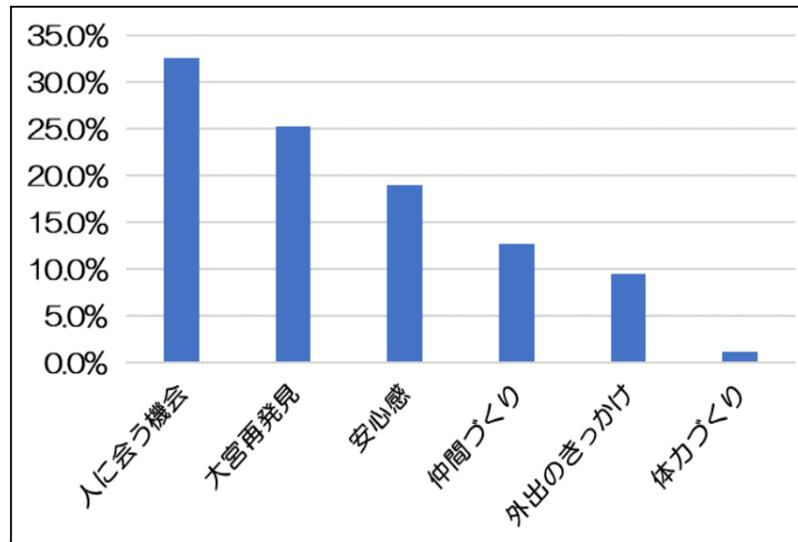
② 男女別



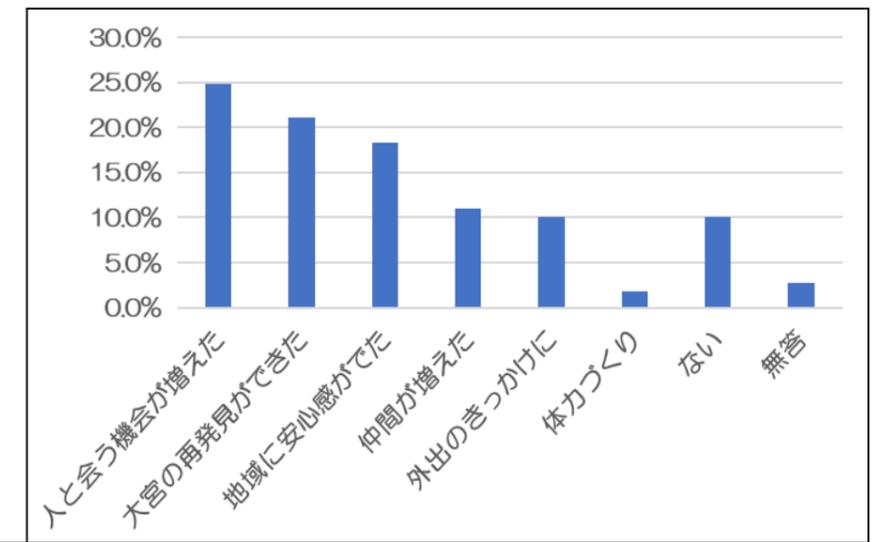
③ 年代別



④ まち協があつてよかったこと(在住者)



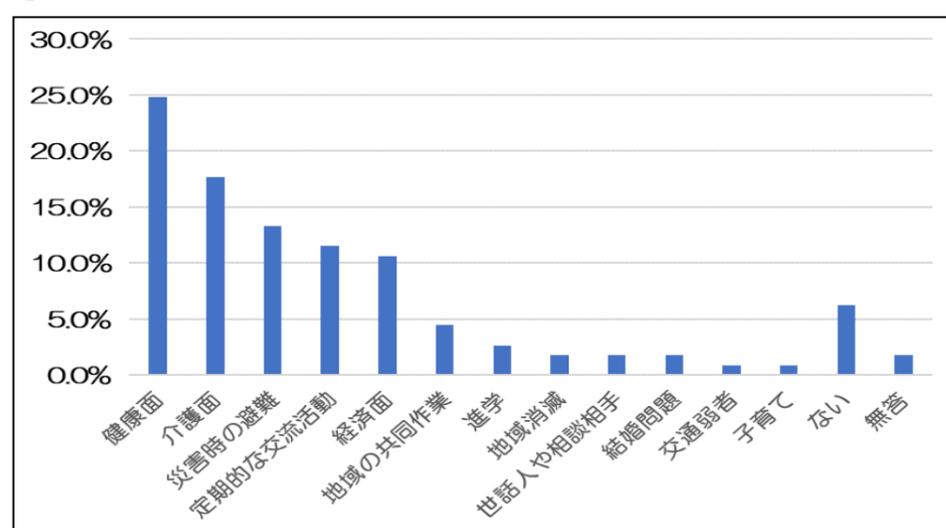
⑤ まち協があつてよかったこと(出身者)



ほぼ男女同数の方々に回答していただいた。
また、年代別では回答者の4分の1が60歳代であった。次に多かったのが、70歳代、続いて、80歳以上となった。50歳代以下の回答者は、27.2%であった。

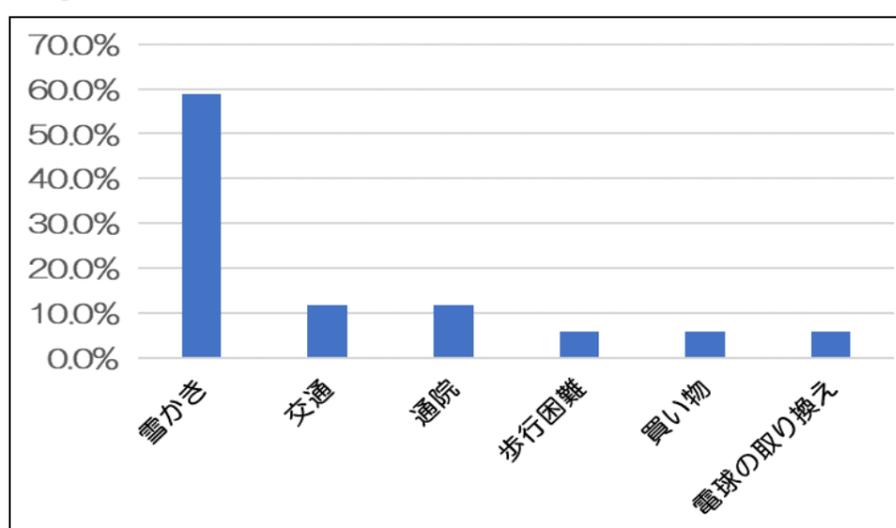
まちづくり協議会があつてよかったことは、在住者、出身者にかかわらず「人に会う機会が増えたこと」が1番多く、2番目が、「大宮の再発見ができたこと」、3番目が「地域に安心感ができたこと」であった。このことから、人と人との交流が大事であることがこの回答から読み取ることができる。
また、大宮の良さを再発見する機会ができていることも重要な点である。

⑥ 心配事は何ですか？(在住者)



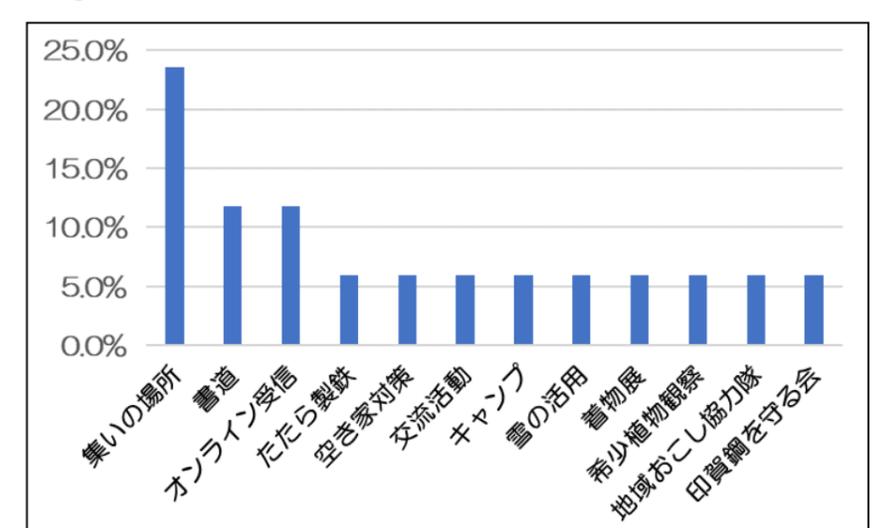
心配事では、「健康面」が4分の1、続いて、介護面、災害時の避難が上位を占めた。そのほか、交流活動ができなくなってきたことへの心配があり、コミュニティの維持には交流の機会を持つことを望んでおられる。

⑦ 困ったことは何ですか？(在住者)



一昨年の年末年始は大雪に見舞われた。したがって、結果として雪かきが約6割を占めた。除雪された道路に出るまでの除雪は、高齢者にとって大きな負担としてのしかかっていると考える。
また、「交通弱者」「買い物弱者」も大きな課題である。

⑧ どんな活動をしたいですか？(在住者)



交流の場と機会を創出していくことが大事であると感じておられる方が約4分の1近くおられる。また、生涯学習のための講座を開催してもらいたいことや大宮の環境を生かした取り組みを望んでおられることがわかる。